

ネイティブフラボバクテリウム・メニンゴセプティクム PNGase F

Cat. No. NATE-0603

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 酵素学において、ペプチド-N4-(N-アセチル-β-グルコサミニル)アスパラギンアミダーゼ (EC 3.5.1.52) は、N4-(アセチル-β-D-グルコサミニル)アスパラギン残基を切断する化学反応を触媒する酵素であり、グルコサミン残基はさらにグリコシル化される可能性があり、(置換) N-アセチル-β-D-グルコサミニルアミンとアスパラギン酸残基を含むペプチドを生成します。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特に線状アミドのペプチド結合以外の炭素-窒素結合に作用するものです。

用途 糖タンパク質分析 糖タンパク質から高マンノース、ハイブリッド、複雑なN-グリカンの除去 不純物 (エンドF、プロテアーゼなど) を含まない

別名 グリコペプチダーゼ N-グリコシダーゼ; グリコペプチダーゼ; N-オリゴ糖グリコペプチダーゼ; N-グリカナゼ; グリコペプチダーゼ; ジャックビーングリコペプチダーゼ; PNGase A; PNGase F; グリコペプチダーゼ N-グリコシダーゼ; ペプチド-N4-(N-アセチル-β-グルコサミニル)アスパラギンアミダーゼ; EC 3.5.1.52; PNGase F; 83534-39-8

製品情報

由来 フラボバクテリウム・メニンゴセプティクム

EC番号 EC 3.5.1.52

CAS登録番号 83534-39-8

分子量 36 kDa

活性 500,000 ユニット/ml

単位定義 1単位は、37°Cで1時間に10μgのβ-性RNase Bから95%以上の炭水化物を除去するのに必要な酵素の量として定義され、総反応体積は10μlです (65 NEB単位 = 1 IUBミリ単位)。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで保管してください。

安定性 保存条件: 20 mM Tris-HCl、50 mM NaCl、5 mM Na2EDTA、50% グリセロール、pH 7.5
25°C 熱不活化: 75°Cで10分